

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスあまーちforゆう			
○保護者評価実施期間	2024年 12月 12日		～	2024年 12月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数)	19名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 10日		～	2025年 1月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数)	12名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 10日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	経験豊富な看護師・保育士・理学療法士等専門のスタッフが充実しており 安心・安全な支援ができている	始まりの会や終わりの会、スタッフ会議やSNSで情報の共有を図っている。 また、会議で研修を行い各々が自分の支援を振り返り、実践に活かしている。	新しくPTが入職したため、時間を確保し身体の手組みを行う。各スタッフも助言をもらいながら身体の手組みを行う。
2	生活介護との交流や地域に向けてのイベントなど、活動内容が豊富である	最大のニーズである入浴支援を中心に、春秋の遠足・いこいこ水堂祭り・小学生喫茶イベント・本気で水合戦・夏のプール遊び・秋の味覚市・ミーツザ福祉・クリスマス会・もちつき大会など、生活介護との交流や地域のイベントに参加したり開催している。 また、保護者向けに全体懇談会と個人懇談を行っている。	さらなる充実を図っていくために、生活介護との交流機会を増やしていく。懇談会等では看護師やPT等の専門職も参加し、専門的な立場からの情報提示や助言等を行っていく。

3	広くて清潔な生活空間がある	入浴が機械浴やナノミスト浴、個浴の浸かり湯等、バリエーションが豊富で障害に応じて使い分けている。 和室でリラックスできる環境の中で医療的ケアが実施できている。	よりスペースの確保ができるよう、必要なものの見極めをしていき、不必要なものは極力置かない。必要なものについても軽量化や簡素化を図っていく。
---	---------------	--	---

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	経験豊富なスタッフが揃っているが、スタッフの高齢化により今後も豊富なスタッフを維持できるよう対策が必要。	重症児対象の為、既存スタッフだけではケアが追い付かないこともある吸引等ができるスタッフの確保が課題。スタッフの高齢化により身体的介護への負担が増えてきている。	設備の活用をし、負担のない介助を行う。スタッフの確保については求人や紹介等様々な手段で獲得したい。
2	放課後からの支援なので、短時間に入浴と医療的ケア・水分補給・トイレ介助など支援が多くて時間が足りない。	スタッフの配置人数が足りていても、入浴時は着替えによる補助や移乗等、入浴後のケアについてもカニューレホルダーの交換、適宜吸引、整髪、スキンケアなど支援が多く、入浴以外の時間も水分や薬の注入などがあり、学校が終わってからの限られた時間の中でそれらのケアをするための時間としては不十分さを感じている。	時間の延長等様々な検討をする。
3			